



# 株主通信 第20期 中間期

2018年10月1日から2019年3月31日まで

東亜バルブエンジニアリング株式会社

## 会社の概況 (2019年3月31日現在)

商号	東亜バルブエンジニアリング株式会社
英文	Toa Valve Engineering Inc.
証券コード	6466
所在地	〒660-0054 兵庫県尼崎市西立花町五丁目12番1号 電話 06-6416-1184
設立日	2000年3月16日
資本金	17億3,955万9,810円
事業内容	各種バルブ、鋳鋼製品の製造販売、 各種バルブのメンテナンス業務、除染及び廃炉関係
従業員	293名 (連結312名)

## 株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
期末配当金 受領株主確定日	9月30日
中間配当金 受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年12月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)

## (ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせ下さい。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行株式会社）ではお取り扱いできませんのでご注意下さい。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行株式会社）にお問い合わせ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国本支店におきましてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社全国本支店でお支払いいたします。

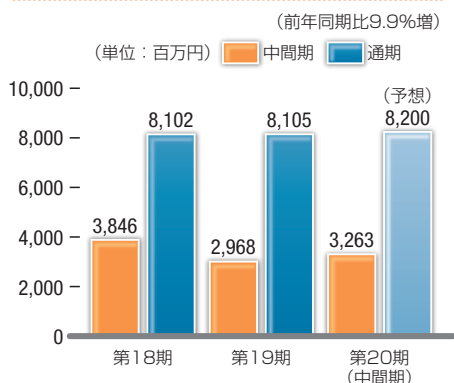
上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部  
 公告の方法 電子公告により行います。  
 公告掲載URL <https://www.toavalve.co.jp/>  
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に公告いたします。)

**TVE** 東亜バルブエンジニアリング株式会社  
TOA Valve Engineering Inc.

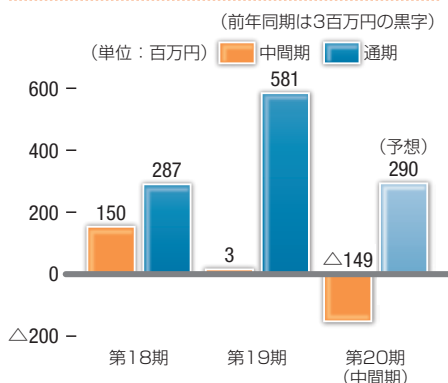
## 財務ハイライト (連結)

2019年5月発表 業績予想数値

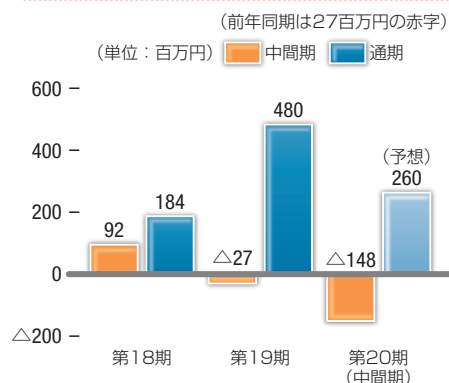
売上高 **32億63** 百万円



経常利益 **△1億49** 百万円



親会社株主に帰属する  
四半期(当期)純利益 **△1億48** 百万円



### 中間配当について

第20期の中間配当につきましては、1株当たり、15円とさせていただきます。

1株当たり

**15** 円

詳細な財務情報は、当社ホームページをご覧ください▶▶▶

<https://www.toavalve.co.jp/>

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第20期中間期の株主通信をお届けするにあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

ご案内の通り、当中間期の決算は前中間期に比して増収減益となりました。主に原発向けバルブ製品の増加で売上は増加しましたが、受注損失引当金の影響により損失は拡大しました。とはいえ現時点では当期の計画に大きな変更はなく、今後下半期に売上が増加するとともに採算も改善していくものと想定しています。

さて、ようやく昨年までに5原発9基が再稼働し、当社としてもひと段落といった状況でしたが、ここにきて今度は、特定重大事故等対処施設の完成遅れによる原発停止リスクが急浮上してきました。早いものでは九州電力川内原発が来年春に、関西電力高浜原発が来年秋にその時期を迎える見込みで、現在、短・中期での業績影響について情報収集を進めているところです。

他方、国内の原発は、これまでのところ10原発24基で廃止が決定若しくは検討されており、特に当社グループの主要顧客である関西電力の原発においても4基の廃止が決定しております。

当社グループにおいては、今後進められるこれら原発の廃止措置をビジネスチャンスと捉え、本年4月1日にリファインメタルプロジェクト室を新たに設置いたしました。まずは一定期間、事業性の評価を実施し、GOとなれば

点開設等を含め、積極的にリソースを投入していく計画です。

また資本業務提携を実施しているキッツ社からの指導を受け、本年2月よりTAMES (タメス・ToA Management Evolving System) プロジェクトを開始しました。これは全社的な経営効率向上活動で、まずは生産部門での展開を経て、販売、事務部門にも拡大していく計画です。名称のTAMES (タメス) には「試す」の意味も重ね合わせており、失敗を恐れずチャレンジしていく文化の醸成につなげていきたいと考えております。

このように、まだまだ内外に課題山積の状況ですが、ひとつひとつクリアすることで中期経営計画を達成し、企業価値の向上を図ることにより株主様のご期待に添えるよう全力で努めてまいります。株主様におかれましては何卒、引き続き変わらぬご指導を賜りたく心よりお願い申し上げます。

2019年6月

代表取締役社長執行役員

逆野幸州



## TOPICS トピックス

### 2019年4月1日 当社ホームページを刷新いたしました。

2019年4月1日に、より多くの方々に当社やその専門的強みを知っていただくため、ホームページの刷新と新たな情報サイトの立ち上げを行いました。

日本のインフラをものづくりで支える当社の製品やサービス、そしてそれらを提供する従業員に焦点を当て、さまざまなコンテンツを取り入れました。

トップ画面では、当社が目指す未来について社長より「ビジョン」を。また、当社の強みである「人のチカラ」をコンテンツとして設け、事故の発生が許されない当社のバルブ製品を作り上げる技術とそれを担う従業員にスポットを当てております。



更に製造事業を「つくるチカラ」、メンテナンス事業を「まもるチカラ」として当社の『チカラ』を3本の柱に掲げ、紹介しております。

「採用情報」のページでは「現場を支える12人のプロ」と題した特集記事を掲載し、当社の現場で活躍する従業員のやりがい、仕事風景、今後の目標などを公開いたしました。

「IR情報」のページにつきましても『一目見て分かる』をコンセプトにイラストを使った分かりやすいものに変更いたしました。

この度のリニューアルを機に、より多くの方々に当社の魅力・製品を身近に感じていただけるよう今後も情報を発信してまいります。



### 業界初専門技術情報・新サービスサイトを開設いたしました。

ホームページと併せて、業界では初の試みとなる専門技術情報サイト、「バルブソリューション」、「鋳鋼技術ラボ」、そして新サービスサイト「TEST LABO」の3つを新たに公開いたしました。

専門技術情報サイト「バルブソリューション」、「鋳鋼技術ラボ」は発電所用バルブのメンテナンスや鋼鉄を鋳造する技術である鋳鋼に特化した専門サイトで、「バルブソリューション」はエンジニアの方向けに原子力・火力発電所等で使用される特殊バルブのメンテナンスに関する情報、メンテナンスの事例やそのプロセスを公開するほか、加工機



の使用法や各種技術情報等を、「鋳鋼技術ラボ」では鋳鋼製品に関わる設計改善事例や鋳鋼製品サプライヤーの選定のポイントを発信しております。

新サービスサイト「TEST LABO」につきましては、第19期株主通信でもご紹介いたしました、主に企業・研究機関のニーズに合わせた受託試験サービスの専門サイトです。各サイトにはメールマガジンのページを設け、当社の持つ技術を積極的に発信し、新たな顧客の獲得を目指してまいります。



各サイトへのアドレスは下記の通りでございます。

#### 専門技術情報サイト① バルブソリューション

業界初のバルブメンテナンスに関する技術情報サイト  
<https://valve-solution.toavalve.co.jp/>



#### 専門技術情報サイト② 鋳鋼技術ラボ

業界初のエンジニア向け技術情報サイト  
<https://cast-steel-tech.toavalve.co.jp/>



#### 新サービスサイト TEST LABO (受託試験)

受託試験サービスの専門サイト  
<https://valve-solution.toavalve.co.jp/test-labo/>

